

人口総数	76,086	世帯数	23,611
男	36,775	面積	16.07km ²
女	39,311		

芦屋市報

昭和51年 2月20日 第362号

発行所 芦屋市精道町7-6 芦屋市役所 発行人 芦屋市長 編集 公聴広報課 印刷所 オール出版印刷 毎月2回5日20日発行 全世帯配布 昭和29年1月25日第3種郵便物認可 (定価2円)

昭和50年度各会計予算現計および執行状況

昭和50年11月30日現在 (単位千円)

会計区分	当初予算額	現計予算額	収入済額	支出済額	差引
一般会計	12,841,000	13,213,329	5,181,419	5,286,090	△104,671
(同繰越事業)		154,713	113,853	93,386	20,467
特別会計	862,000	930,400	469,985	596,535	△126,550
国民健康保険事業	862,000	930,400	469,985	596,535	△126,550
下水道事業	3,445,000	3,975,861	698,082	1,295,418	△597,336
(同繰越事業)		69,844	56,580	66,887	△10,307
北部土地区画整理事業	47,000	49,000	10,393	19,559	△9,166
公共用地取得費	720,000	1,649,000	46,806	1,065,560	△1,018,754
(同繰越事業)		11,400	11,400	9,322	2,078
交通災害共済事業	15,500	15,500	13,861	6,168	7,693
財産区					
打出芦屋財産区	7,000	7,000	10,447	4,081	6,366
三条津知財産区	1,200	1,340	1,745	122	1,623
総計	17,938,700	20,077,387	6,614,571	8,443,128	△1,828,557

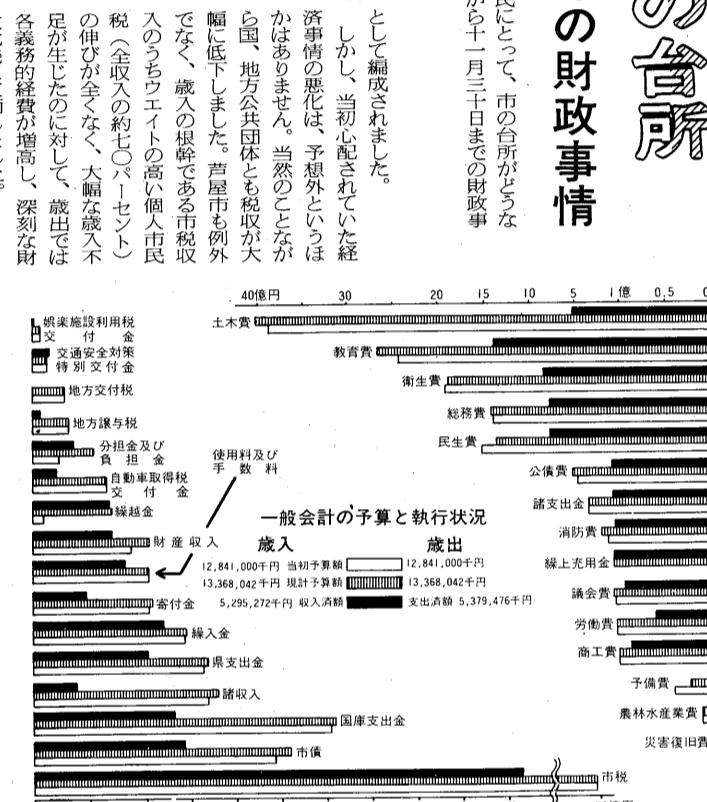
本年度(昭和五十年)の予算は、自然と調和した生活環境づくりに、▽健康とくらしを守る市として編成されました。しかし、当初心配されていた経済情勢の悪化は、予想外というほかにありません。当然のことながら、歳入の根幹である市税収入のうちウエイトの高い個人市民税(全収入の約七〇パーセント)の伸びが全くなか、大幅な歳入不足が生じたのに対して、歳出では各義務的経費が増高し、深刻な財政危機に直面しました。

この財政危機を乗り越えるため、歳出面の経費の効率化・合理化、公共料金など受益者負担金の適正化などに積極的な検討を加え、財政の健全化計画を策定中です。健全化計画の概要は、市議会をはじめ関係機関との相談を終えて市民のみならず、市民にもお知らせし、ご協力をお願いする考えです。今回公表した各会計ごとの予算と執行状況は、表とグラフのとおりですが、次にそのあらましをご説明しましょう。

市は毎年、七月と二月に財政事情を公表しています。これは市民にとって、市の台所がどうなっているかを知る大切なものです。このほど昭和五十年六月一日から十一月三十日までの財政事情をまとめ、公表しましたので、その概要をご紹介します。

苦しくなつた市の台所

昨年6月～11月の財政事情



一般会計

当初予算に対してこれまで五回の補正予算を行ない、現計予算額は百三十二億一千三百三十二万九千円で、繰越事業分を加えすと百三十三億六千八百四十二万二千円と

入園者を募集します

市民農園 市では、市民のみならず、市民に親しんでいただくこと、二か所の市民農園を開設いたします。このたび、昭和五十年年度の入園者を募集いたします。入園者は、今年入園申込みできません。また、五十年年度入園者もありません。ご了承ください。

土地・評価替えに伴い 固定資産課税台帳の縦覧と納期が変わります

昭和五十年年度は土地・家屋の評価替え(価格が変わる)が行なわれる年です。これに伴い、税負担の調整措置等について地方税法の改正が見込まれていますので、本市においては、固定資産課税台帳の縦覧と固定資産税、都市計画税の納期を五十年年度に限り次のように変更いたします。

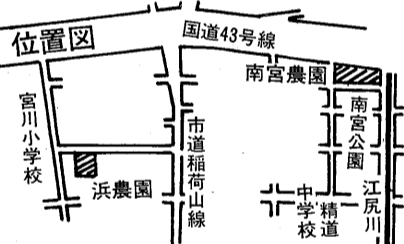
確定申告と納税は3月15日まで

二月十六日から始まった所得税の確定申告と納税は三月十五日までの申告と納税はなるべく早くお

縦覧期間 四月一日から二十日まで

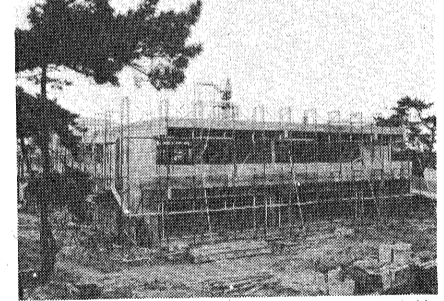
市民農園

市民農園 市では、市民のみならず、市民に親しんでいただくこと、二か所の市民農園を開設いたします。このたび、昭和五十年年度の入園者を募集いたします。入園者は、今年入園申込みできません。また、五十年年度入園者もありません。ご了承ください。



市職員を募集

市職員を募集 医療補助職(看護助手) 採用人員 二人(性別 女) 資格 中学校卒業以上で経験資格等が必要としないが、健康でなるべく若い人。当院の看護婦寮にはいり看護婦養成所に通学する意思のある人(受付期間 二月二十四日(火)～二十八日(土)まで) 申込み 問合せ先 市立芦屋病院事務



伊勢幼稚園の建設進む

伊勢幼稚園の建設が進んでいます。場所は伊勢町84番地(太陽神戸銀行グラウンド東隣)で、鉄筋コンクリート造り2階建ての園舎がほぼできあがり、あとは内装工事と外部の仕上げを行なって3月末に完成、4月の新学期から開園する予定です。

小公害対策事業、伊勢幼稚園新設工事、山手小学校増築工事、高校障害者学級新築工事など▽消防費から執行したもの：消防山手出張所新設工事。

特別会計

特別会計の現計予算額に対する収入割合は一九・五パーセント、支出割合は四五・七パーセントとなっています。

普通恩給の改定請求手続を

松ノ内町〇六八(一)に変更になる(たとはは戸籍簿本、抄本、市町の証明書)に、郵便番号、住所、夫婦の氏名(ふりがな)を明記したものを添えて、三月八日までに〒662西宮市和上町六一二十五、神戸新聞販売所(金婚夫婦祝福係)へ。

阪神養護学校 介助員を募集

阪神養護学校では、担任教師の指示のもとに介助を行なう介助員を次のとおり募集しています。▽資格 原則として高校卒業の満五十才以下の入園希望者 二月二十六日(木)まで▽申込み 問合せ 県立阪神養護学校(西宮市田近野町十一番七号、電話〇七九八〇六八八)まで。

金婚の祝福表彰

神戸新聞社の「金婚夫婦祝福表彰式」が、四月十八日(日)午後一時から西宮市民会館ホールで行なわれます。該当されるかたはお申し込みください。申し込みは夫婦には表彰状、記念品などが贈られます。

身体障害者職業訓練生募集

大阪身体障害者職業訓練校では、身体に障害のある人を対象に、機械製図や洋裁など一科目にわたって職業訓練生を募集しています。募集期間は二月二十九日まで(第一回)と、三月二十二日まで(第二回)と、応募方法などについては、同校(T590堺市旭ヶ丘町四一、電話〇七三三〇三三三)へお問い合わせください。

保護樹紹介

シリーズ(4)

指定番号4▽樹種 くろまつ▽所在地 山芦屋町十五(KK日本興業銀行大阪支店役宅内)▽樹高 十八尺▽樹冠直径 十五尺▽幹周り 二・五尺▽特徴 樹型のよい大木で活木も良く、樹冠も広い。(写真左)

指定番号6▽樹種 くろまつ▽所在地 宮川町二十三▽樹高 十五尺▽樹冠直径 十・五尺▽幹周り 二・三六尺▽特徴 緑量はさほど多くないが、都心に残った木としては古く、かつ大きい。風致木として立地的役割も大きい。

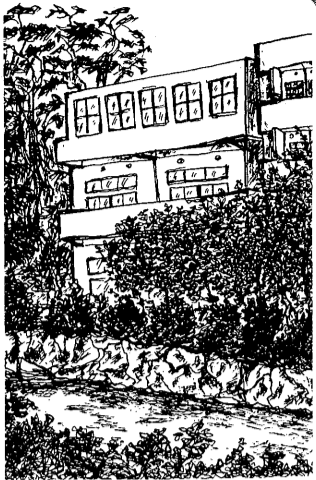
指定番号15▽樹種 けやき▽所在地 三条町百七十九(芦屋八幡神社境内)▽樹高 〇八・五尺、〇八・八尺▽樹冠直径 〇二・五尺、〇二・五尺▽幹周り 〇二・五尺、〇二・五尺▽特徴 いずれも樹冠が広く、活木もよい。(写真右)

指定番号16▽樹種 けやき▽所在地 三条町百七十九(芦屋八幡神社境内)▽樹高 〇八・五尺、〇八・八尺▽樹冠直径 〇二・五尺、〇二・五尺▽幹周り 〇二・五尺、〇二・五尺▽特徴 いずれも樹冠が広く、活木もよい。(写真右)

高校から...

市営の坂道を のぼり続けて三年

芦屋は剣谷の市立芦屋高校から、ことしもまた百六十八人の若者たちが集っていきま



ホーム・ルーム できなくなるのが いやや！

(3年・山野ひろみ)

私が高一のとき、父の会社が倒産し、家具もとられた。電話も食器もなにもかも。家に残ったのはフツンのみ。高校にはいれた喜びより強いショックだった。お父さんは蒸発したし、生きていくことよりも、死ぬことを考えてた。お母さんは、朝の九時から夜の十二時まで働いていた。私もバイトして必死でた。でも、やっぱり苦しみよりも楽な道へと進みかけたこともあった。そやけど、どうにかして生きていた。

高一のホーム・ルーム、いややだった。私の友だちが、次々と涙ながして話していた。「私もや」といいたかった。だけど、いっただことは嘘はいった。やっぱり取っ手しかなかった。生きるために、人のものごとたりした。牛乳なんかちよちよちよ。パンばかり食べた。私が、パン屋のバイトしたから。私は、お父さんのこと、にくんでいた。私ら捨てていったんやから。私ら、そのために何度かかたされた。ホーム・ルームの時間、いややだったけど、心の底で好きだった。なんでやというたら、私以上に苦しむものが、たくさんいるから。私は、その話をきくたびに、今の生活をがまんしとった。私の生活よりもほかの子のほうが下やからやない。あの子ががんばって生きるとんやから、私もという気持ちだったんや。ホーム・ルームで彼らの話、きかかんたら、すねとったやろと思う。自分だけ苦労しとんと、思い続けとったやろと思う。高二の合宿のとき、私のこと話した。やっぱり嘘まじりや。なんで、ほんとのこと話さへんのやろと思う。自分が悪いことしてへんみたいと言った。自分の生活ふりかえるんが、みじめで苦しかったからだ。食べ物がない、人のごはんを食べにくい、時のこと言いたくなかったから。でも、なんかしらん食べ、すらすらする。自まんしてるとんや。でも自分でわかんないから、私は、ホーム・ルームで落ち着けるようになっていった。いろんな話のきいて、私はお父さんのこと、ゆるすようになった。一年たって、やせけて帰ってきたんや。それは全部、私らのためや。自分でも、なんでかわかんない。ホーム・ルーム好きや。

三年間で学んだこと

(3年・本村 健一)

それで、その中で、お父さんゆるすようになった。なにが、そうさせたかわかんない。でも、すなおになつてきた。お父さんやお母さんのこと考えるようになった。私はそれだけでも、ホーム・ルームやってよかったと思う。ともかく卒業したら、もうこんなホーム・ルームができなくなるんがいやや。

市営に来て、いちばん心に残ったことは、奨学生集会のことだ。

初めのころは、奨学生集会に行くのがいやだった。それは、昔の親の苦労とか、生いたちを話すことだったから。そんなことを話すのは、ほくにとつていちばんいやなことだ。それに、奨学金が出て、初めは取りに行くのも恥ずかしいと思う気持ちがあった。他の人の目を気にしてたりした。でも、そんなことも、奨学生集会に一回二回出るうち、なんとも自分のしていることが恥ずかしくなってきた。奨学生集会に出ている人たちみんな、苦労という字を背負って生きていく人たちが多かった。そんなことを聞かされたとき、ほくは、なんだかこれからはみんな話をしているみたいな感じがした。

それにしても、奨学生集会に出ていると、いろいろな生いたちを聞かされた。そんな話を聞いていると、苦労しても、一生懸命に生きて、自分自身の親の苦労というのを知ってきいて、強くなってきたと思った。それに、いろいろな生いたちを聞かされて、ほくは、もともと親のこと、そして自分自身のことを考えていかなければいけないと思った。

もし、他の学校に行っていたら、ほくは、だめな人間になっていたと思う。だから、市営にきて、人間的な勉強を教わってもらったと思う。そのことを、もともと自分のものにして、世の中に出て恥ずかしくない人間性を持ちたいと思つた。そして、これが市営生活三年間のうちで、もともと印象に残つたものひとつであるのだ。

さらに、もうひとつ印象に残つたものがある。それはクラスの友だちのことだ。クラスの友だちは、ほくが授業をききながら、遅刻したり、早退したりするんや」と言ってくれた。このことに對して、ほくは、「こいつ、なんや」と思つたが、後になってからは、ほくのことをほくにとつてはうれしかったし、力もなつた。そんなことが、ほくにとつてはうれしかった。力もなつたと思う。三組というクラスは、バラバラのように思えていたけれど、そんなこと言われてから、そんな感じはしなくなった。クラスの女の子も、ほくに對して怒つてくれたし、少しの男の人も怒つてくれた。そのときは、ほんとうに、口では「ありがどう」とは、言えなかったが、心の中で「ありがどう」と言いたかった。もし、みんながそんなことを言ってくれたら、ほくはもっと遅刻をしたり欠席していたのちがいないと思う。だから、みんなの期待にそつように言つては、おかしな、無事にみんなといっしょに卒業したいと思つている。

第三に印象深いことは、就職のことだ。就職の件に関しては、先生方に、いろいろ迷惑をかけたけれど、無事に就職場所が決まつた。もし、あれが中学のとき先生だったら、「あの子は、頭が悪いからどうでもええ」と言つて思う。しかし、市営の先生は、どんな子でも平等に見てくれたことがうれしかった。こんな先生も、きつと市営にきて教育されたと思う。就職の時、先生は徹夜をしてほくののためにがんばつてくれた。ほんとうにうれしかった。三年間の印象は、こんなことだ。市営での三年間は、ほんとうに良かったし、市営にきて、ほくはいろいろなことを学んだと思つた。

現在、芦屋にある市立の学校園では、さまざまな問題にとりくみながら、独自の歩みが続けていますが、そういった教育現場の中で、子どもたちはどのような生活をきてきたのでしょうか。今回は特に、この現場からの声をみなさんにご紹介したいと思います。

園では...

あつ、おしつこだつたの

珍しく、ちらちら雪の降るお昼。 「まさしく、早くたべようね」「みんなもうたべているよ」「わあ、おいしそうなコロッケ」何をいわれもアツンと浮かぬ顔のまさしく、おべんとう時のたのしいざわめきをまじりに、いっせいに食べる気がありませぬ。またしても、「お腹のたいの、しんどいの」と声をかけては、顔を当てる先生、どうもおかしい。さっきまで元気な遊んでたのに、気が悪いのか、友だちと何かあったのか、おかすか入らなうのか、もう思いつくだけのあたりをつけてみたものの、みんなハズレ。同じグループの子も「まさしく、はやたべよ。しんどいか」とのをき込んで聞いています。そのうち二人と食べ終つた子が出はじめました。とうとう困り果てた先生が、「ね、まさしく、たのむから教えて」と嘆願しました。じつと先生の顔をみつめていたまさしく、こっそり小さい声で「おしつ」と教えてくれました。ハッと気づいて床をみてもおぼれてはいませんが、寒いで重てはいた。パンツは、すっかりぬれていました。さて、着替えて、さつぱりしたまさしくのすさまじい食べっぷり、コロッケをパクリ、ウンと胸をたたいてさげんのような。「あわてないでね」「うん」さつきとまるで人が違つたようです。食べ終わつて、ごちそうさまと元気な声を残して口を洗いにいきました。

家庭から初めて集団生活に入ってきた子どもは、どの子も、その子なりの心にかかものをもっています。それが家庭の状況からくるもの、今までの育てられ方からくるもの、身体の不調からくるものなど、いろいろの荷をたまって背負っています。 まさしくは、困り果てた先生にそのわけを話してくれましたが、子どもはこうして話してくれることは少ないので、早く安心して遊べるよう荷物の中味を正しく知ること努めています。

ひろみちゃん、身体が少し不自由なので、思うように早く走れません。でも運動会をとても楽しみにしています。汗をいっぱいかいて、みんなと一緒にいっしょに励んでいまして、病弱の発作で二週間も休んでしまいました。 リレーの時なんか「ひろみちゃん、がんばれ」「赤組の応援も空しく、どんどん追い抜かれてしまうのです。ひろみちゃんのお休みの間は、赤組はかわりの子が走るの好成绩をあけていました。 運動会の五日前の朝、元気になったひろみちゃんが少し遅れながら部屋に入ってきました。すると、先にきていた赤組のなまの一人が走りよつて「ひろみちゃん、なつて来たな、運動会、まじ、おつたな」と肩をたたいて迎えました。うんどうとつなつて二たりと笑つてかばんをかたづけました。ひろみちゃん走るの遅いので、よく赤組は負けるけれど、その力いっぱいさがわり、心待ちにしてくれていた赤組のなま。子どもはなまは、非情な面と無類に暖かい面がありますが、その中で、それぞれの持味をもって意欲的に、対等の関係で参加している時は本当に楽しそうです。

どんぐり帽子 みつかったぞ!!

くちちゃんが、園庭でどんぐりをみつけた。園内では、この秋はじめて拾つたどんぐりで、帽子つきのものです。ところが、そそっかしいくちちゃん、うれしさあまり、保育室へ持つてるまじり、せつかこのどんぐりの帽子を落としてしまったのです。そこで子どもたちはこの事を話し、みんなで庭中帽子さがしをはじめました。探せばあるもので十数個が集まりました。果してそれが本物か。

「くちちゃん、曲つた棒のついてるやつだった」といっておぼえを頼りに棒つきばかりをえらぶと数個になりました。「しましま帽子ひとつと、ぶつぷつ帽子ふたつや。くちちゃんの拾つたのは細長どんぐりです。」「どれやろな」「ほんまや」などいってるときに、「ひとつずつかきまわして」と声がかかり、くちちゃんがつつとつと合わせていくのを、みんな真剣な顔でみています。「しましま帽子はダメ、ぶつぷつ帽子のぶつぷつや。やっぱりありました。ぶつぷつ帽子のぶつぷつがぴったり合いました。」「細長どんぐり、ぶつぷつ帽子や。」「それならしましま帽子は丸どんぐりや。」「くちちゃんの落としたことから、こんなことがわかりました。この小さな発見があつてから、みんなはどんぐり帽子が好きになつて、園庭さがしたり、道々拾つてきては、見せていました。もうと違うものと思つて、広田神社の森へ連れていきました。くちちゃんの木の下で、きくの花のような大きな帽子を拾つた子が「わあ、へやーピースみたい」「でっかいな」と大喜び。さて、これがかつていたどんぐりな、とうとう見つかりませんでした。どこへいったんかなあ.....

保育室の入口の戸に、小枝についたみの虫を、枝ごととりつけておきました。翌日、枝から離れ、糸の跡を残して、戸の上に移っていました。それを見つけた子どもたちが、「みの虫すごいな、横向けに歩いている」「糸があるからいけるんや」「べたべたしてるからひつつくねん」と話しています。

みんな、みの虫について話し合いました。木にひつついてるのはおとななかつたこと、細い糸でもなかなか切れないこと、何回も巻いて白くなつたことなど、それぞれの体験を出し合つて「レンジャー部隊みたいや、危ないことは糸でいくねん」ということがみんなの心をとらえました。それなら自由遊びがはじまり、めいめいがスモッグの中にならびの縄を丸めて入れて這っています。積木をつんで作った木の枝のところで登ると、その縄を保育室の廊下側のかもいに結びつけておいてくれるのです。これがきつかけとなつて、冬ごもりをするみの虫あそびへと発展していきました。

教科書のない幼稚園では、子どもを心はずませて生き生きと遊ばせるのに、子どもが「楽しい」と言えてくれそう、素材をみつけ、体験させるのに苦労します。それをタネにして、その子なりの受け止めや思いを拾い集めてエネルギーにして、子どもの力で遊びを進めていくと考えています。あまのお

ぼくの先生 あしたはくるの

ある日、若い受持ちの先生が勉強にかけてました。その留守を、ベテランの先生があつて、昨日からのあそびの続きを、今日は保育室だけでなく、園庭にもひろげ、こはお家こは池草むらとつくらせていきました。

その気にかけるのに適切な助言もはいるので、あまり心はずまなご子も、着着かない子も、みんなきりりとして引きまわつて腫れかやかせせています。

こんな感じ、くりの合うときもあるんだと、思われまして。やがて遊び終わつて「あ、あ、あ、おもしろかった」といっつやきを聞いたとき、受持ちの先生には、気の毒だけれど、今日はよかったなあと、思いました。やがて、帰りはたかをはじめた一人の子が「ぼくの先生、あしたはくるの」とたずねたのをきかけ、子どもたちが口々に「あした、かえつてくるね」といふのです。

どんなに楽しく遊んでもらつても、やっぱり、ぼくの先生の方がいいという子ども思いが、ひしひしと伝わってくるのでした。いつも、勝手にふるまう先生のことなんか、なかなか聞かない子どもでも、先生の必死のがんばりや、子どもを心をつかみ切れないすまなさを、子どもたちは案外よく知つてくれるのかもしれない。



はげまし あつて まいにちを

幼稚園から...

話し合いのなかから

人の性質は、すでに中学時代までできあがっているといわれて... この新年を改良の年にしていきたい。

私を変えてやる

(生徒 I) 私は、この夏の夏休み、お母さんの仕事場に行つて...

赤ん坊から

(生徒 II) 僕は、中学校に入学して一学期というものが、そうじがいやいでいようがなく、逃げまわつて...

笑いとしよう談と...

(生徒 III) 私は中学生になって、ずいぶん変わった。小学校一年のとき、授業中、私が発表して...

学校を休みたい

(生徒 IV) 私は、よく忘れ物をして学校へ行つた。私は、夜遅くまでお母さんのお店の手伝いをして...

中学校から...

なせ、そうなのだろうか? ぼくは、六年間あまり、そうじを男子がするのはおかしいと思つて...

教師も背すじを伸ばしてがんばり直す

(後記から) 中学生生活九か月を、二学期中心に一緒に組まされた子どもたちと語りつた。子どもたちのことは語りつくした内容がある...



いまは学校

いま、多くの家庭では、お子さんの教育のことについていろいろのことが、話し合われておられることと思います。

先生 わたしを知って

四月に入学してきた一年生をみて、担任となった教師は心を引かれます。あの、じつと私を見つめている目の輝きに...

わかる授業を

授業がつまらない。わからないのでおもしろくない。こんな子どもを教室で待つてくつていないだろうか...

うちの子は だいじょうぶ?

「教育危機は、なにもよも教師が子どもを知らないということ、それだけでなく、知らずしてしまっていることにあります」...

ぼく、ありの 行列みたせ!

わたしたち教師は、子どもを、どれだけ知って行っているのかという、親さんの願いにこたえるために、子どもの姿をお手紙で証明してあげるものを...

まがったひとを

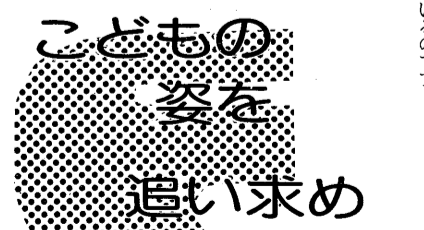
「まがったひとを、ラッちやいけなく、まがったひとを、ラッちやいけなく、まがったひとを、ラッちやいけなく、まがったひとを、ラッちやいけなく」...

入学のときの 喜びを!

「まがったひとを、ラッちやいけなく、まがったひとを、ラッちやいけなく、まがったひとを、ラッちやいけなく」...

本 嫌 い

「まがったひとを、ラッちやいけなく、まがったひとを、ラッちやいけなく、まがったひとを、ラッちやいけなく」...



小学校から...

第一回臨時市議会報告

ことしはじめての第一回臨時市議会が二月二十七日から三十一日までの会期五日で開かれました。

議案第八十九号「四十九年度市庁舎建築費の交付に関する条例の改正について」は、財源確保の健全化を図るため、

議案第九十号「市選管委員の任期満了に伴う市選管管理委員会の後任者について選挙を行なった結果、委員に尼子定夫氏(宮城町八九番地)の一人を選出した結果、委員に

心身障害者の扶養共済制度

この制度は、心身に障害がある者を扶養している人に、万一のことがあったとき残された障害者に月二万円を給付する制度です。

市民の黒板

市役所の電話

一時恩給(旧軍人)の請求手続

市の児童手当

国民年金の保険料免除

老令福祉年金請求

%から14.5%に引き上げられました。

- ②均等割の税率
③資本の金額または出資金額が1千万円を超える法人および保険業法に規定する相互会社について年額4,000円が7,000円に引き上げられました。

2 前納報奨金、督促手数料

昭和51年度市税から、前納報奨金および督促手数料が次のように変わります。
①前納報奨金について、一期税額のうち20万円以下の税額について交付率が100分の1を100分の0.6に、20万円を超える税額については、100分の0.5を100分の0.4に改正されます。

税のお知らせ

市税条例の一部改正

芦屋市市税条例等の一部を改正する条例(昭和51年条例第2号)が昭和51年1月31日に分布施行され、下記の事項について改正されました。

1 法人市民税

昭和51年2月1日以降に事業年度が終了する法人からは、次のように改正されました。

①法人税割の税率

資本の金額または出資金額が1億円を超える法人および法人税割額が400万円を超える法人については、12.1

催し物ご案内

市民ハイキング
日時 3月14日(日)雨の時
は3月21日
集合場所 時刻
国鉄芦屋駅改札口前午前7時30分

スキースクール
兵庫県スキー連盟公認のスキースクールです。全日本スキー連盟(SAJ)の指導員が正しいスキーをみっちり講習致します。

バレーボール
参加希望の方は、次の代行者まで連絡してください。
①精道クラブ
(久保田美也子 2881)

芦屋ヘルス・クラブ
成人男女が楽しみながら健康づくりができます。
会費月額300円、水曜日午後7時～8時30分に市立体育館・青少年センターで活動しています。

点字実技講習会
点字広報あしや発行と点字の実技指導をします。
盲人のかたへの点訳奉仕をなさりたいかたは、是非ご参加ください。

勤労青少年教室と講座
【生花教室】
日時 毎水曜午後6時30分
会場 市立体育館・青少年センター第二研修室

身体障害者作品展

三月十五日から十七日まで、県民会館で身体障害者の自立更生の意欲を高揚することを目的として開かれます。

国の児童手当

次の要件に該当しているかたは、すぐに市保険年金課で手続をしてください。

若いときから

国民年金
最近の日本は、世界でも屈指の長寿国になりました。したがって、若くして老後の世界を考えたとき、49年間の必要経費控除後

競争入札の参加者

昭和五十一年度中に市が発注する建設工事等の指名競争入札に、参加を希望のかたは、二月一日

下水処理場の水質試験結果

Table with 4 columns: Test Item (採水日, 12月17日, 1月21日), and 4 rows: Temperature, Flow, BOD5, Coliform count.

たとは、国民年金に加入されたかたは、六十五才になれば終身「老令年金」が、そして、遠い老後を生きるだけなく、加入後、交通事故・病氣・天災などで思わぬ重度障害を受けると、治るまで、障害年金が、また、一家の中心を失なった母子家庭には、子供が十八才になるまで「母子年金」が支給されます。この年金額は、物価を調整するに当たって、年々減額されていきます。あなたも、二十から五十九才までの間に、公的厚生年金・官公庁の共済組合などの公的年金に加入されていないかたは、国民年金に加入してください。

老令福祉年金請求
明治三十九年四月一日までに生まれたかたは、次のすべての要件に該当すれば、市保険年金課で手続をお済ませください。

行え不明者等の相談所
家族のかたで、行え不明になっているかたは相談しておくといい。三月十三日～十九日までの一週間、場所 兵庫県民サリースセンター特別相談室(神戸市曹区そごう百貨店新館一階)
なお、兵庫県警察本部刑事部鑑識課でも相談に応じています。

春の全国火災予防運動

2月29～3月13日

幸せを明日につなぐ火の始末

一家庭における安全点検

- ガス器具を正しく使おう。
■たばこの投げ捨て、寝たばこはやめよう。
■水バケツ、消火器具などを備え付けよう。
■避難路を考えておこう。
■外出や就寝前の火の元点検しよう。

火事と救急は119番

家庭の火の元検査を希望されるかたは、消防本部予防課へ。

現在加入されている共済期間は3月末日で終了しますので、改めて加入の手続が必要です。

■広報あしや3月5日号に振込用紙を折込みますので、ご家族全員ご加入ください。

■問合せ 市安全対策課 電話02121内線304

1人年間300円の掛金で最高70万円の見舞金

市民交通災害共済

第2回市民落語寄席

桂米朝独演会

日時 3月20日午後2時開演

場所 ルナ・ホール

演し物 ●貧乏花見 桂干朝 ●狸の寶 桂米朝 ●牛の丸薬 桂枝雀 ●愛宕山 桂米朝 (中入) ●軒づけ 桂米朝

入場料 1,300円(前売) 1500円(当日) (ルナ・ホール友の会会員のみ前売1200円)

前売券発売所 ●大阪・梅田阪急交通社(06・373・5446) ●神戸・サンチカブレイガイド(078・332・1570) ●芦屋・市民センター内ルナ・ロッサ(0797・31・1011)

主催 芦屋市・芦屋市ルナホール協会